

会議録

会議の名称	平成28年度第4回ふじみ野市総合振興計画審議会			
開催日時	平成29年1月26日（木曜日） 午後7時から8時35分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎5階 執行部室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	中村 賢一	委員	大平 聡男
	委員	野澤 利夫	委員	福村 光泰
	委員	岸 昌哉	委員	西村 ひろみ
	委員	柳沢 俊男	委員	牛場 清
	委員	郷 秀樹	委員	進藤 美奈子
欠席者名	富田 信太郎副会長、鈴木 絵里委員、渡辺 千尋委員			
会議の議題	1. 開会 2. 内容 (1) 基本構想（修正案）について (2) 基本計画（素案）について (3) その他 3. 閉会			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	1人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	次第 資料1 基本構想（修正案） 資料2 基本計画（素案）※施策体系図 資料3 基本計画（素案）※施策項目作成シート 資料4 ふじみ野市最上位計画策定スケジュール（修正案）			
事務局	総合政策部 経営戦略室 （金子部長、樋口室長、武井副室長、山本主任、黒川主任） アビームコンサルティング株式会社			
議事の確定	確定年月日	平成29年2月1日		
	記名押印	役職名 会長 中村 賢一 ㊟		

発言の要旨

発言者	発言の要旨
中村会長	<p>1. 開会</p> <p>前回の審議会で皆さんから基本構想についてのご意見をいただきましたので、本日はその修正案が示されています。また、新たに基本計画が示されていますので、主にこの2点について議論したいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、議題（1）「基本構想（修正案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明の前に、2点、配布資料についてご報告させていただきます。1点目は、用語解説や注釈についてです。お配りしている資料には、まだ用語解説や注釈を記述しておりませんが、次回の審議会でお示しさせていただきます予定です。2点目は、元号の表し方についてです。2019年の元旦から新しい元号となる可能性がありますので、動向を伺いながら検討をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>2. 議題</p> <p>（1）基本構想（修正案）について （資料1「基本構想（修正案）」を基に説明）</p>
中村会長	<p>前回の審議会に出された皆さんの意見が、結果的に資料へ反映されていると思います。市の内部でかなりの議論をしていただいたようです。ご意見やご質問等がありますでしょうか。</p>
柳沢委員	<p>18ページのグラフについて、「経常収支比率の推移」の数値は、次ページのグラフの「歳入決算額の推移」と「歳出決算額の推移」から、導き出せるのでしょうか。</p>
事務局	<p>経常収支比率とは経常的な収入に対する経常的な支出の割合です。詳しく説明しますと一般財源のうち経常的な収入に対する経常的な支出の割合で、割合が低ければ低いほど固定費が少なく自由に使えるお金が多いということになります。反対に割合が高ければ高いほど固定費が多いので、自由に使えるお金が少ないということになります。この部分は、説明が必要だと思います。</p>

柳沢委員	<p>次ページに「歳入決算額の推移」と「歳出決算額の推移」のグラフが掲載されているので、単純計算をしてみたのですが、「経常収支比率の推移」のグラフの数値と合わなかったので、質問をしてみました。経常収支比率について注釈があった方が良いと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、注釈等で説明を加えさせていただきます。</p>
牛場委員	<p>一言で言えば、100から89を引いた残りが、一般の家庭でいう可処分所得で自由に使えるお金というイメージだと思います。</p>
中村会長	<p>これは国からの指導があつて、全自治体で同じ計算式で導き出す数値です。確かに、行政の専門的な数値なので民間からすると少し違和感があるかもしれません。解説を加えるなど少し工夫していただければと思います。</p>
柳沢委員	<p>20ページの図、「協働の領域」ですが、ふじみ野市はこの(1)～(5)のどこを目指しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、「協働のまちづくり推進指針」というものを策定している中で使用しており、協働の全体的な考え方を表した図です。そのため本市が目指す協働の形を示すものではありません。どこを指すというよりは、事業によってどこの形が良いのかが、決まるものと考えます。その点に分るように記述を工夫したいと思います。</p>
柳沢委員	<p>この図をそういう意図で載せられているのだろうとは思いましたが、現状の記述内容では今現在どの位置にいて、どこを目指すのかという疑問が湧いてしまうので、質問をさせていただきました。</p>
中村会長	<p>28ページ「将来人口」についてですが、「平成27年(2015年)の合計特殊出生率が確定したことから」という記述は、我々は過程を把握しているので理解できますが、最終的な製本をイメージするとこの記述には違和感があります。「平成27年(2015年)の合計特殊出生率1.53を使いました」というような表現が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりで、修正させていただきます。</p>

中村会長	<p>他にご意見はありますでしょうか。基本構想の内容は前回の議論を踏まえて、分かりやすく、非常にすっきりして理解しやすくなったと思います。基本構想は、平成42年度を目標にしますので、今後のふじみ野市の13年間を決めるという表現がここに盛り込まれています。そういった意味では大きいくりで、方向性として問題がないかという視点でご確認いただければと思います。</p>
岸委員	<p>元号が変わった場合は、変更するのでしょうか。</p>
事務局	<p>元号がいつ発表されるかによると思います。動向を伺いながら検討したいと思います。</p>
中村会長	<p>最上位計画を製本されるタイミングによると思います。新たな元号が正式に決定されれば、行政は和暦を使うのが原則になりますので、当然、反映させる形になります。しかし、決定の時期によっては注釈等を記述することも必要かもしれません。</p>
中村会長	<p>他にご意見等がないようでしたら、議題（2）「基本計画（素案）」に移りたいと思います。</p> <p>それでは、議題（2）「基本計画（素案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（2）基本構想（素案）について （資料2「基本計画（素案）※施策体系図」、資料3「基本計画（素案）※施策項目作成シート」を基に説明）</p>
中村会長	<p>皆さんに確認いただきたい視点は、各施策の具体的な中身ということよりも、分野に対する施策が大きく欠落しているとか、各施策の文章の分量といった全体的なバランスです。具体的な内容については、まだ市の内部で議論をしている最中ですので、大きいくりの視点でご意見をいただければと思います。ご意見やご質問はありますでしょうか。</p> <p>私から質問させていただきます。公共施設の整備について、どこかの施策に盛り込まれているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の資料には含まれておりませんが、各施策を支える取組として、行政内部の行政経営という分野を設定します。具体的には経営資源であるヒト・モノ・カネといったものと行政経営の取組を記述する中で公共施</p>

<p>中村会長</p>	<p>設については記述をしたいと考えております。</p>
<p>牛場委員</p>	<p>承知しました。</p> <p>現在の総合振興計画では、前期の5年間は数値目標がなくて、後期で初めて指標が入りました。指標を入れるというのは、目標値が達成されたかどうかが見えるので、すごく分かりやすいと思います。しかし、その目標値の難易度については考慮されていません。今回、新たな指標と目標値を設定する際には、難易度を捉えないと、目標値設定の妥当性が判断できないと思います。例えば1つの例を挙げますと、施策2「人権尊重」で、「人権問題に関する講演会等の参加者の関心度、理解度」が指標になっています。現在の総合振興計画の指標では、「人権問題に関する講演会の参加者数」でした。参加者数では、講演する人にもよりますし、天候にも影響されてしまうため、施策の目標を達成されたかが評価できません。私はふじみ野市行政評価外部評価委員会の委員をしていますが、その点について良く議論になるところです。現時点で、指標や目標値の設定の仕方についてどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本的に、指標というのはアウトプットよりもアウトカムの方が当然良いと考えておりますが、施策によってはアウトカム指標を設定できないものもあります。また、様々な指標がある中で目標値に対して一定の基準で難易度を捉えることは難しいと考えております。目標値は、どの施策においても高いほうが当然良いのですが、あまりにも不可能な目標値を掲げるのもいかなものかという部分もありますので、ある程度所管課の個々の判断にならざるを得ないと考えております。ただし、安易な目標値ではなく、頑張れば達成できるといった感覚で設定したいと考えております。</p>
<p>牛場委員</p>	<p>状況は分りましたが計画期間の途中で、目標値を達成した場合には目標値を改めて再設定することも必要であると思います。その点についても検討いただければと思います。</p>
<p>中村会長</p>	<p>資料3「基本計画（素案）※施策項目作成シート」の「主な施策指標案」に「定義・選定理由」が記述されており、ここで選定理由が読み取れます。指標の捉え方はいろいろとあると思いますが、指標の選定や目標値の設定については市が決める内容だと思います。この部分は議論し始めるときりがないので、市の判断に委ねてよろしいのではないでしょう</p>

岸委員	<p>か。他に、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>施策14「保健・医療体制」の指標は、「4か月児健康診査未受診者実態把握率」や「がん検診受信率」、「成人歯科健診等受信者数」で、取組としては以前からずっと変わらずやっております、この指標は医師会でも悪いものではないと認識しています。取組によっては単年度のものなど様々だと思いますので、より良い指標を市の方で考えていただくというのが良いかと思います。</p>
中村会長	<p>後期基本計画の策定の際は、市としてどのような手順で前期基本計画の見直し作業をやる予定なのでしょうか。例えば、外部の有識者を集めて審議するのか、又は市の中だけで見直すのか。その辺はどうお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、ふじみ野市行政評価外部評価委員会という組織があります。施策がどれくらい進捗したかという点などについて評価していただく組織で、5年間かけて全部の施策を評価します。この最上位計画の評価についても、同様の評価制度にて実施していくかについて、検討をしています。また、計画期間中の指標値の見直しについては、今いただいたご意見を参考にしながら、公表の仕方なども含め検討させていただきます。</p>
中村会長	<p>承知しました。他にいかがでしょうか。</p>
岸委員	<p>資料2「基本計画（素案）※施策体系図」の分野8「防災・防犯」についてですが、この「防災・防犯」は序論の市民意識調査結果で、市民から重要視されている分野であり、基本構想でも「まちづくりの理念」に掲げられているものです。しかし、体系図を見ると他の分野に比べ施策が少なく、分野のボリュームが少ないと印象を与えてしまうのではないのでしょうか。私自身は、現状でも市として一生懸命取り組まれている分野だと認識しています。8月末にも九都県市総合防災訓練を開催していますし、市独自の総合防災訓練については毎年開催しています。また、総合防災訓練には医師会も協力させていただいており、市全体としても大変力を入れている分野であると思いますので、分野の順番を入れ替えたり、施策を増やすことにより市民に対してもう少しアピールしても良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりであり、市としても力を入れている分野です。そこで、</p>

	<p>基本構想の13年間で優先して取組むべき方向性を「重点戦略」として位置づけており、その中に「災害対策」を含んでいます。また、「重点戦略」のうち前期基本計画の6年間で重点的に推進する項目の「前期重点プロジェクト」の中にも「災害対策」の具体的な取組を位置づける予定です。この「前期重点プロジェクト」で重要度は表せるものと考えております。</p>
岸委員	<p>承知しました。「前期重点プロジェクト」で示されるのであれば市民に対して十分にPRできると思います。</p>
中村会長	<p>「前期重点プロジェクト」は、この最上位計画の他に冊子として作成されるものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回お配りしている資料3「基本計画（素案）※施策項目作成シート」と一緒に前期基本計画に盛り込む予定です。</p>
中村会長	<p>承知しました。他にご質問やご意見はありますか。 現計画の後期基本計画と比べて文字の分量も少なく、読みやすくいいと思います。</p>
事務局	<p>今日の段階では、資料なのでこういう形ですけれども、これが冊子になるとときには、もう少しきちんとしたレイアウトで、グラフや写真も入ってくるので、さらに見やすくなると思います。</p>
柳沢委員	<p>この最上位計画に基づき最終的には、各課の個別計画の中で、より具体的に目標を立てて取り組んでいくものだと思いますが、個別計画の内容は、表には出てこないのでしょうか。</p>
事務局	<p>個別計画につきましては、より具体的な細かい内容となりますので、この最上位計画の中で表すことは出来ません。ただし、個別計画については各所管課がホームページ等で公表しておりますので、ご確認いただくと可能です。</p>
中村会長	<p>行政の動きとしてはこの最上位計画が全ての根拠となりますので、そういった意味では網羅的に書かなければならない部分があります。個別計画はこの最上位計画が根拠となるので、それを反映させてそれぞれの計画が作られるという流れになります。個別計画の策定のタイミングが合</p>

	<p>わない場合は、個別計画の見直しの際に、最上位計画に沿った形で計画が変更されてくるという形になります。そのことから、個別計画を策定する際の基本的な部分が、この最上位計画に書いてあるということが大事なところだと思います。今回示された案は市内部でもだいぶ時間をかけて議論したようです。他の市町村の策定経過と比べると、結構手間暇かけて策定していることが伺えますので、かなりしっかりとした中身になっているのではないかと思います。</p>
柳沢委員	<p>このふじみ野市としての一番大きな柱となる指標というのはあるのでしょうか。例えば、転入超過により人口を増加させることが指標になるのか、ふじみ野市はとても良い市だと言える指標は何かあるのでしょうか。</p>
中村会長	<p>事務局で何か見解はありますでしょうか。確かに、昨年度策定をした「ふじみ野市人口ビジョン」、「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は目標が明確でした。国の方針に従って人口減少に歯止めをかけるということと、東京の一極集中を解消するという2つが明確な目標とされていました。それに対して、この最上位計画は市政運営の基本的な方向性を示すものなので、最終的な目標を設定するというのは難しいかもしれません。ただし、前回の審議会で議論したように、キーワードがあります。まちの将来像で「人がつながる 豊かで住み続けたいまち ふじみ野」、この辺が1つの大きな目標なのかなと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>まちの将来像の「住み続けたいまち ふじみ野」という部分で、何世代にもわたって「住み続けたい」と思うことのできるまちを目指すと言っておりますので、やはり、転出者の割合が少ないというのが大きな指標の1つではあると思います。学校を卒業して、就職の関係で市外に行くこともあるでしょうが、最終的にはまたふじみ野市で暮らしたいと戻ってきていただける。そういうところから、やはり転出者数とか転入者数が大きな指標の1つであることは間違いないと思います。</p>
中村会長	<p>各施策については目標値がありますが、全体の大きな指標として設定するということはしませんよね。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりです。各施策の取組においてそれぞれの目標値が達成され、最終的に将来像が実現されていくというイメージです。</p>

中村会長	<p>率直な話をしますと、人口は東京に集中していて、東京の人口が増加しています。しかし将来的に首都圏でも人口減少になります。その時に、この近隣の中でも都市間競争が始まるのが想定されます。勝ち組と負け組が出る時に、ふじみ野市は勝ち組にならないといけない。そこが大きい1つの方向性になってくると思います。従来は、国の方針として全国津々浦々平等にという施策でやってきましたが、これからは地方独自の施策展開をしてくださいと、それが、地方創生です。頑張る地方自治体は支援するけれども、頑張らない地方自治体はほったらかしになると思われま。ふじみ野市では市を消滅させたくないの、生き残りをかけて頑張りますという方向性がこのまちの将来像に表現されていると思います。行政ですからきつい表現は使えないので、このような表現を使用しているのだと思うのですが、おそらく本音の話をすると、ふじみ野市だけは生き残るのだというくらいの熱意が込められていると思います。</p> <p>他にご意見はありますか。</p> <p>また1つ私から質問させていただきます。私が最近気になっていることがあります。例えば、障がい者福祉とか高齢者福祉といったいろいろな福祉がありますが、福祉の制度で救える人はいいののですが、制度の狭間で救えない人がいるという事例が注目されています。この辺は施策として展開しにくいので、最上位計画に書きづらいですが、例えば、その辺を何かふじみ野市として救済するシステムみたいなものがあると、少し特色になるかもしれません。そのような方が市へ相談できる窓口があるとか、そういうセクションがあるなど、どうお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>本市では、他市にない組織として「福祉総合支援チーム」を設置しています。この組織はこれまで制度の狭間でなかなか救えなかった方々の相談や、横断的な対応をするために設置した組織です。この取組は、施策13「生活支援」に関連する内容でありますので、もう少し具体的な内容を加えさせていただきたいと思ひます。</p>
中村会長	<p>承知しました。そのような取組がされているのであれば、他市との差別化が図れる可能性があると思ひます。</p>
事務局	<p>本市には生活の困窮などの相談窓口として「市民総合相談窓口」もあります。「福祉総合支援チーム」は福祉に特化したチームで、生活保護に至らない方を事前に救っていかうと、また、就労相談や困窮世帯の子ど</p>

中村会長	<p>もたちの学習支援などもやっています。その辺に関しても、少し記述が弱いと思いますので修正させていただきたいと思います。</p> <p>他市にはないふじみ野市の取組がアピールできるようなシステムがあると、差別化が図れると思います。</p> <p>他にご意見等がありますでしょうか。現段階では、まだ市の内部でも議論している最中のものもありますので、次回の審議会までの間に何か気が付いた点があれば、事務局に連絡していただいても結構ですし、私に連絡いただいても結構ですのでよろしくをお願いします。</p>
牛場委員	<p>スケジュールの件で確認したいのですが、次回の審議会の際には、この39施策は市の案として固まった状態で示されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントにかける案として内容を固めたものでお示したいと考えております。</p>
牛場委員	<p>お願いなのですが、少し早めに資料をいただけると助かります。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
中村会長	<p>他にご意見等がないようであれば、議題3「その他」について、事務局から何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>(3) その他について (資料4「ふじみ野市最上位計画策定スケジュール(修正案)を基に説明」</p>
事務局	<p>次回、第6回の会議日程についてです。平成29年5月上旬を予定しておりますので、確定次第、改めてご連絡させていただきます。以上です。</p>
中村会長	<p>3. 閉会 それでは、これをもちまして「平成28年度第4回ふじみ野市総合振興計画審議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>